



平成30年3月13日

各 位

会社名 株式会社ファルテック
代表者名 代表取締役社長 横田 昭治
(コード番号 7215 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 北原 正裕
(TEL 044-520-0290)

(訂正) 「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年2月10日に開示いたしました「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年3月13日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東
 コード番号 7215 URL http://www.faltec.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸井田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 加藤 浩 TEL 044-520-0290
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	60,637	6.6	1,749	5.3	1,625	△2.5	622	△34.8
27年3月期第3四半期	56,876	3.3	1,660	△3.9	1,666	△10.3	955	△6.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 259百万円 (△83.9%) 27年3月期第3四半期 1,608百万円 (△10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	67.24	66.76
27年3月期第3四半期	103.99	103.15

(注) 平成26年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	59,791	18,020	27.4	1,761.03
27年3月期	60,337	18,082	27.2	1,777.45

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 16,409百万円 27年3月期 16,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	43.33	43.33
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	43.33	43.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	2.9	3,500	16.1	3,500	14.3	2,100	△6.2	226.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使による発行済株式数の増加を加味して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	9,318,600株	27年3月期	9,248,100株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	624株	27年3月期	624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	9,256,263株	27年3月期3Q	9,185,625株

(注) 平成26年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内における売上高減があったものの中国・タイ子会社の新工場稼働及び米国子会社の新規取引拡大等により60,637百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

営業利益は、中国・タイ子会社の新工場稼働効果等により1,749百万円（同5.3%増）となりました。

また、経常利益は前年同期に計上した108百万円の為替差益が90百万円の為替差損となったこと等により1,625百万円（同2.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として英国での環境対策に関わる費用72百万円及び課徴金引当金繰入額148百万円、法人税等831百万円等を計上し、622百万円（同34.8%減）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、自動車整備・車検機器類の売上高減等により44,348百万円（前年同期比1.2%減）となりました。セグメント利益は、売上高減影響及び次世代高付加価値商品への先行開発費用増等により1,313百万円（同10.3%減）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、中国・タイ子会社の新工場稼働等により8,006百万円（前年同期比44.3%増）となりました。セグメント利益は、新工場の順調な稼働等により201百万円（前年同期は35百万円のセグメント損失）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、米国子会社のルーフレール新規参入等により8,281百万円（前年同期比28.5%増）となりました。セグメント利益は、英国子会社の新車立上げ費用増等ありましたが北米子会社のルーフレール売上高増等により242百万円（同13.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ545百万円減少し、59,791百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比べ483百万円減少し、41,771百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べ61百万円減少し、18,020百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.2ポイント増加し、27.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,110	5,699
受取手形及び売掛金	<u>18,510</u>	<u>16,534</u>
商品及び製品	<u>3,587</u>	<u>3,647</u>
仕掛品	<u>485</u>	<u>621</u>
原材料及び貯蔵品	<u>2,346</u>	<u>2,518</u>
繰延税金資産	<u>550</u>	<u>535</u>
その他	2,037	2,090
貸倒引当金	<u>△15</u>	<u>△14</u>
流動資産合計	<u>31,611</u>	<u>31,632</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,758	6,346
機械装置及び運搬具(純額)	6,518	5,816
工具、器具及び備品(純額)	818	1,015
土地	7,267	7,247
リース資産(純額)	1,640	1,363
建設仮勘定	1,097	2,093
有形固定資産合計	<u>24,100</u>	<u>23,883</u>
無形固定資産	1,364	1,211
投資その他の資産		
投資有価証券	1,327	966
繰延税金資産	<u>1,772</u>	<u>1,936</u>
その他	1,233	1,232
貸倒引当金	<u>△1,072</u>	<u>△1,072</u>
投資その他の資産合計	<u>3,261</u>	<u>3,063</u>
固定資産合計	<u>28,725</u>	<u>28,159</u>
資産合計	<u>60,337</u>	<u>59,791</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,455	11,348
電子記録債務	2,443	3,837
短期借入金	4,832	2,530
1年内返済予定の長期借入金	2,660	2,740
リース債務	1,122	794
未払法人税等	300	302
賞与引当金	668	408
課徴金引当金	-	145
その他	4,130	3,572
流動負債合計	27,614	25,680
固定負債		
長期借入金	4,128	5,995
リース債務	509	433
退職給付に係る負債	8,286	8,015
持分法適用に伴う負債	175	136
再評価に係る繰延税金負債	1,060	1,060
その他	480	448
固定負債合計	14,640	16,090
負債合計	42,254	41,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,218	2,257
資本剰余金	535	575
利益剰余金	9,928	10,150
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,681	12,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	602	437
繰延ヘッジ損益	△3	△3
土地再評価差額金	1,883	1,883
為替換算調整勘定	2,525	2,346
退職給付に係る調整累計額	△1,251	△1,237
その他の包括利益累計額合計	3,755	3,426
非支配株主持分	1,645	1,611
純資産合計	18,082	18,020
負債純資産合計	60,337	59,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	56,876	60,637
売上原価	48,005	51,120
売上総利益	8,871	9,516
販売費及び一般管理費	7,210	7,766
営業利益	1,660	1,749
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	38	43
不動産賃貸料	30	35
為替差益	108	-
持分法による投資利益	9	37
その他	49	64
営業外収益合計	246	191
営業外費用		
支払利息	185	191
為替差損	-	90
その他	55	33
営業外費用合計	241	314
経常利益	1,666	1,625
特別利益		
受取保険金	143	-
投資有価証券売却益	-	121
補助金収入	39	-
特別利益合計	183	121
特別損失		
固定資産除却損	36	48
事業撤退損	134	-
特別割増退職金	35	-
環境対策費	-	72
課徴金引当金繰入額	-	148
特別損失合計	205	269
税金等調整前四半期純利益	1,643	1,477
法人税等	754	831
四半期純利益	889	645
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	955	622

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	<u>889</u>	<u>645</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	246	△164
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	<u>232</u>	<u>△236</u>
退職給付に係る調整額	236	14
その他の包括利益合計	<u>718</u>	<u>△386</u>
四半期包括利益	<u>1,608</u>	<u>259</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>1,572</u>	<u>293</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	35	△34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,881	5,550	6,444	56,876	-	56,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	748	353	-	1,102	△1,102	-
計	45,630	5,904	6,444	57,979	△1,102	56,876
セグメント利益又は損失 (△)	1,464	△35	213	1,642	18	1,660

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,348	8,006	8,281	60,637	-	60,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	906	206	1	1,113	△1,113	-
計	45,254	8,212	8,283	61,750	△1,113	60,637
セグメント利益	1,313	201	242	1,757	△8	1,749

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを「自動車部品事業」、「自動車用品事業」及び「自動車関連機器事業」の3区分としていましたが、第1四半期連結会計期間より、事業内容及び経営環境に関してより適切な情報を把握するため、事業区分を見直し、「日本」、「アジア」及び「北米他」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。